

平成 24 年度第 3 回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会議事概要

1. 日 時 平成 24 年 7 月 26 日 (木) 14 時 00 分～17 時 15 分

2. 場 所 大阪大学附属図書館総合図書館 (6 階) 研修室

3. 出席者 (敬称略、順不同)

大阪大学附属図書館	家住 久子
同志社大学図書館	原 健治
神戸大学附属図書館	土屋 祥子
京都産業大学図書館	真部 理恵
京都府立医科大学附属図書館	枚田 眞紀子
大阪工業大学図書館	田村 俊明
近畿大学中央図書館	鹿田 昌司
奈良県立医科大学附属図書館	鈴木 孝明
関西福祉科学大学図書館	田原 里香子
京都大学人間・環境学研究所図書館	塩野 真弓

4. 配布資料

1 開催通知	-----	p. 1
2 平成 24 年度第 2 回能力開発専門委員会議事録 (案)	-----	p. 2
3 平成 24 年度能力開発専門委員会開催日程検討資料	-----	p. 6
4 平成 24 年度「初任者研修」について		
① 決算案 (決算報告、支出明細、情報交換会収支明細)	-----	p. 8
② アンケート結果 (Web 掲載案)	-----	p. 11
③ 受講機関職員数 (統計データ)	-----	p. 21
④ 各委員研修まとめ	-----	p. 24
5 平成 25 年度研修事業について		
① 近畿イニシア研修プログラム (H17-24)		p. 42
6 平成 24 年度初任者研修当日使用資料【確定】		
① 収支リスト	-----	p. 45
② 司会原稿	-----	p. 46
③ アイスブレイク進行原稿	-----	p. 53
④ 情報交換会進行原稿	-----	p. 55

5. 議 事

1) 前回議事概要（案）の確認

了承された。

2) 平成 24 年度「初任者研修」について

① 決算案について

- ・専門委員会の直前に内部監査を行い、土屋主査、鹿田委員が書類等を確認の上、決算報告書に署名した。
- ・塩野委員が決算報告書（案）に基づいて説明を行った。

② アンケート結果、受講者所属機関調査結果（Web 掲載案）について

- ・アンケート結果について鹿田委員が説明を行った。
- ・8月3日までに各委員で気づいたことがあればメーリングリストに投稿し、Web 掲載版最終稿を確定することになった。
- ・講師にもアンケート結果を送付することが確認された。Web 掲載版と同じものを送付するかどうか、鹿田委員が確認することになった。
- ・アンケート原紙は能力開発専門委員会事務局で保管することが確認された。
- ・受講者所属機関調査結果について真部委員が説明を行った。昨年度と同じ様式でまとめたものを Web 掲載することが了承された。

③ 各委員研修のまとめについて

- ・各委員が提出した「まとめ」について補足説明を行った。

(主な内容)

- ・募集要項 3. 研修対象者の経験年数の記述がわかりにくかったようだ。
- ・広報配布資料の主旨がうまく伝わっていないようである。「受講者の皆様へ」の記述を工夫する必要がある。
- ・配付資料の印刷部数は、講師数や賛助会員数を考慮して決める必要がある。
- ・アイスブレイクで景品を出す場合、景品紹介の担当者を決めておいた方がよい。
- ・アイスブレイクと情報交換会で打ち解けた雰囲気を作ることができた。進行について事前に業者に通知しておいたほうがよかった。
- ・受付の設営は多少見直す余地があった。
- ・徴収した現金および同意書の確認作業は複数で行ったほうがよい。
- ・講師のファイルは「印刷版」「発表版」「Web 掲載版」と全て少しずつ違うものになった。今後は最初からわけて作成依頼したほうがよい。
- ・タイムキーパーは複数で担当したほうがよい。

- ・賛助会員が研修日直前に参加することになったが、こうした事態はなるべく避けてほしい。

④ その他

- ・今後賛助会員の応募が増えることが予想されるため、これまでの賛助会員への研修募集案内の流れを事務局に確認することとなった。応募の期限は加盟館と同時に設定することが確認された。
- ・運営委員長の課題提起について、資料の Web 掲載可否を問い合わせることとなった。
- ・「まとめ」を作成する時期が研修の直後であり、5月末で交替した委員が分担した部分が抜けてしまうこと、およびアンケートのまとめなど研修以降に起こったことについて引き継ぎが十分に行えない点が指摘された。また、Web サイトにデータを共有できる場所がほしいという意見があった。引き継ぎについてよい案があれば後日提案することとなった。
- ・研修当日の写真および音声データはまとめてイニシア事務局へ送付することになった。

3) 平成 25 年度研修事業について

① 研修の対象について

- ・隔年で中級研修を行っている前例に倣い、平成 25 年度は中級研修を行うこととなった。

② 時期について

- ・アンケート結果から、6月頃の開催でよいことが確認された。
- ・6月13日(木)～14日(金)か7月11日(木)～12日(金)の2つの候補案があがった。次回委員会までに関係各方面の予定を確認することとなった。

③ 場所について

- ・募集人数に合った収容力があり控室が近くに確保できること、近畿全域からの交通アクセスがよいことから、来年度も大阪大学総合図書館を使用させてほしいとの意見が出された。
- ・家主委員が大阪大学の使用可否を確認することとなった。

④ 内容について

- ・次回委員会までに各自1つ以上の案を考え、9月18日までにメーリングリストに提出することとなった。

(その他、意見)

- これまでは、大学の中での図書館の位置関係を意識し、学内で存在をアピールするために情報発信をどのようにするか、という研修が多い。
- あまり他で行われている研修と同じ内容になるのは避けたい。
- 「中級」は対象者の幅が広い。どの程度の立場、経験年数の職員を対象にするのかももう少し明確にしてもよいのではないか。

4) 第4回能力開発専門委員会の日程について

9月25日(火)に関西福祉科学大学サテライト教室で行うこととし、田原委員が会場の使用可否を確認することになった。

以上